

C-1 指導案

3年社会科学習指導案

1 単元名 「地方公共団体の政治」

2 単元目標

- ・地方公共団体の仕事を具体的に關心を持って調べることができる。
- ・町おこしの自分なりのアイデアを考えることができる。(意欲・関心・態度)
- ・地方自治における直接民主制の権利を正しくとらえ、それに伴う責任の大切さを考えることができる。(社会的な思考・判断)
- ・教科書等の図から、住民の意思がどのように反映しやすくなっているか、首長と議会の関係がどうなっているかを国の政治と比較してとらえることができる。
- ・町おこしのプランをレポートにまとめて発表することができる。(資料活用の技能・表現)
- ・地方自治において直接民主制の方法がどのような仕組みで取り入れられているか理解できる。(社会的事象についての知識・理解)

3 指導にあたって

(1) 教材観

本単元は民主政治の基盤ともいべき地方自治について扱っている。地域社会のなかで身近にある具体例を多く取り上げながら、地方自治の仕組みや地方公共団体の仕事、そして住民の権利を学び、さらに地域政治への住民参加の大切さを考えさせることができる教材である。門前町は県下でも有数の高齢社会であり、過疎化の進行も著しい。この身近な町の課題解決を図る学習は、まさしく地方自治の根本的な精神を学ぶことにもなる。

(2) 生徒観

自分の考えを述べることを苦手とする生徒が多く、積極的な学習姿勢とは言えないが、落ち着いた雰囲気での学習できる学級である。自ら挙手しての発言はまれだが、教師の問いかけには何とか答えようとする。2年次の地理分野では特に、調べ学習の形態を班単位で多く経験している。

(3) 指導観

「プロジェクトM」(わが町をわが手で)の提案書をつくる作業を軸にして、門前町が抱える切実な課題である「町おこし」を生徒が主体となって学習する。これらの課題に対しての答えは、大人でも出しにくく、ましてや中学生が追求することは難しい。しかし、問題の一端をつかむことによって生徒自らが住む地域に対する關心を高め、住民としての自治意識の基礎を育てたい。やがて社会の中核となる生徒たちにとって、必要な学習と考える。

4 指導計画（総時数8時間）

第一次 住民の意思による政治・・・・・・・・・・・・・・・・・・1時間

第二次 地方自治の仕組み 住民の権利と参加・・・・・・・・・・2時間

第三次 「町おこし」のプランを考え発表しよう・・・・・・・・・・5時間（本時5/5）

次	学習のねらい	評価の規準			
		関心・意欲・態度	思考・判断	技能・表現	知識・理解
三	・「町おこし」のプランを考え発表し、地方自治の精神を理解する。	・「町おこし」について関心を持って調べ、アイデアを考えようとしている。	・地域の活性化を図るために「町おこし」が必要なことを、過疎問題と絡めて考えることができる。	・いくつかの資料を利用して「町おこし」の、自分のプランをレポートにし、わかりやすく発表できる。	・「町おこし」の意義を理解し、具体例を把握している。

5 本時の学習（三次の6時間）

- (1) 題材 わたしが考えた「プロジェクトM」（わが町をわが手で）を発表しよう！
- (2) ねらい ・「町おこし」のプランを考え発表し、地域に対しての関心を高め、自治意識の基礎を身につける。
・「町おこし」のプランを他の班にわかるように発表する。
- (3) 準備 班の製作ポスター 各自の「プロジェクトM」レポート
- (4) 展開

学習過程	学習活動と生徒の予想される思考	支援○・評価◎		
課題把握 5	◇発表者としての自覚を持ち、自分たちが製作した「町おこし」のアイデアを黒板に掲示し、発表の準備をする。 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="text-align: center;">大課題 「町おこし」のプランを発表しよう</td> </tr> <tr> <td>課題分野 A 特産物の生産（1.5次産業）の創造 B 観光の創造 C 工業の創造・導入 D 活力ある人づくり・教育・文化 E 生活環境施設の整備</td> </tr> </table>	大課題 「町おこし」のプランを発表しよう	課題分野 A 特産物の生産（1.5次産業）の創造 B 観光の創造 C 工業の創造・導入 D 活力ある人づくり・教育・文化 E 生活環境施設の整備	○グループで協力するよう示唆する。 ◎わかりやすく発表ができたか。 【評価方法－発表の観察】 ○発表内容のポイントを確認する
大課題 「町おこし」のプランを発表しよう				
課題分野 A 特産物の生産（1.5次産業）の創造 B 観光の創造 C 工業の創造・導入 D 活力ある人づくり・教育・文化 E 生活環境施設の整備				
課題解決 40	◇ ・アイデアの内容を他班と比べて聞く ・実現できたらどんな効果があるかを考えて聞く ・実現までにどんな課題があるかを考えて聞く ◇発表を聞いての質問や意見を出す ◇外部講師（ゲストティーチャー）の感想や意見を聞く	○適宜、外部講師から助言をもらう		
まとめ 5	◇各レポートの感想を書いたものを各班に渡す。 レポートに貼り付ける。			